



脳卒中によるコミュニケーション障害

失語症 を正しく知っていますか？

失語症は目で見てわかりにくい障害の一つです。耳が聞こえるのに人の話が分からない、声が出せるのに言いたいことが言えない、誤解を解くために説明することができないなどにより、友人や同僚、家族にまで正しく理解されず、周囲との交流を絶ってしまい、引きこもってしまう方がおられます。

失語症は精神的ショックでしゃべることができなくなったと思っておられる方、失語症の方と会話するには50音表を指させれば良いと思っておられる方、平仮名で書けば伝わりやすいと思っておられる方、誤解を解くためにも、ぜひこの研修に御参加いただき失語症について学びませんか。

日時 令和7年2月27日（木）

18時30分から20時まで

会場 ハイブリッド開催

Web : Webex by cisco

会場 : 宮城県大崎合同庁舎

1階 大会議室

講師 大崎ひまわり訪問看護ステーション

言語聴覚士 横川 幸香 先生

〒989-6117 大崎市古川旭4丁目1-1

講師紹介 県北において訪問看護ステーションに勤務し、小児から成人、高齢者までを対象とする言語聴覚士のパイオニアです。退院後地域で生活する失語症をはじめとする高次脳機能障害、言語障害や嚥下障害のリハビリテーションに長年携わっておられます。また失語症の方へのコミュニケーション支援者を養成する事業（失語症者向け意思疎通支援者養成事業）が全国的に開始されていますが、宮城県と仙台市では宮城県言語聴覚士会として委託を受けて、令和2年度の開始当初からお力を尽くされています。

対象 大崎管内の医療機関、行政、障害福祉サービス事業所等の支援者の方々

■ 申込み（令和7年2月20日 締め切り）

みやぎ電子申請にて

（1）QRコード → → → → →

（2）URL ↓

<https://logoform.jp/form/GQGB/867822>



■ 問合せ先 宮城県北部保健福祉事務所 母子・障害第二班

Tel 0229-87-8011

Fax 0229-23-7562